

県中農林ニュース ふくしまから はじめよう。

『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース

第26号（令和3年10月29日発行）

～目次～

○福島県農業賞受賞者を御紹介します！ P.1～4

○農林業関係の動き P.5～8

○各部・各所の紹介 P.9

○おいしい6次化商品 P.10

○お知らせ P.11

【8ページで紹介している「福、笑い」の収穫風景】

福島県農業賞受賞者を御紹介します！

9月3日に、杉妻会館（福島市）において、第62回福島県農業賞の表彰式が開催されました。

今年度の農業賞（農業十傑）は、農業経営改善部門9件、復興・創生特別賞1件が表彰されました。農業賞とは、県内の農業分野の表彰事業で最も権威のある賞です。



【宗像実・洋子御夫妻（郡山市）】

県中管内からは、農業経営改善部門※で
宗像実さん・洋子さん御夫妻（郡山市）
影山明夫さん・清江さん御夫妻（三春町）
飛澤良男さん・登久子さん御夫妻（鏡石町）
が受賞されました。各受賞者の功績等について、次のページで御紹介します。

※本県農業の復興・発展のため優れた業績をあげていると認められ、かつ、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体（法人を除く）及び農業法人に贈られる部門です。



【飛澤良男・登久子御夫妻（鏡石町）】



【影山明夫・清江御夫妻（三春町）】

農業経営改善部門

むなかた
宗像

みのる
実さん

ようこ
洋子さん

御夫妻（郡山市）

実さんは昭和 43 年から酪農を開始され、現在は洋子さんとともに 24 頭の乳牛に愛情を注ぎながら飼育しています。

昭和 49 年から全県に先駆けた個体管理を開始し、一頭ごとに餌や乳量、健康等を細かく観察・記録するなど、高品質な生乳生産と衛生的な畜舎で分娩時などに事故のない環境づくりに長きにわたり取り組まれています。その努力が実を結び、5 年連続で福島県酪農業協同組合から乳質改善優良組合員表彰を受け、平成 28 年と令和 3 年には最高賞を受賞しました。

さらに、実さんは自ら酪農に携わりながら、この 6 月まで福島県酪農業協同組合の代表理事組合長の要職に就いておりました。東日本大震災や新型コロナウイルス感染症まん延下、福島県の酪農家の先頭に立って対応してきました。

また、後継者の息子さんは、近隣の畜産仲間とグループを作り、地域の遊休農地で乳牛の餌となるとうもろこしやムギを栽培するとともに、牛舎から出る糞尿を堆肥化し畑や近くの農家に還元するなど、循環型の農業を実践しています。

受賞者の声

実さん「とてもうれしく思っています。50 年間、酪農に従事してきたが、生き物相手なので予期しないことも起こることもあり、いつも勉強の連続でした。

これからも、今まで以上に一頭一頭大切にして、細かく観察し、牛の良さを最大限に活かす子牛の生産・育成と無事故、そしておいしい生乳生産ができるよう努めていきたいです。」

洋子さん「牛乳は、県内産が一番新鮮でおいしいですよ。これからも、いっぱい飲んでくださいね。」



【愛情を注ぎ管理する御夫妻】



【御夫妻が大切に育てた生乳が、福島県民にはおなじみのあの牛乳になっています】

明夫さん・清江さん御夫妻は、葉たばこと水稲の複合経営を営んでいます。

主となる葉たばこ栽培では、重労働であった収穫作業を、作業者が座乗し（写真参照）手収穫した葉をほ場外へ運搬を行う高架型作業機の導入などにより規模拡大を進めています。また、土壌分析に基づく土づくりにより品質向上と安定的な収量の確保に努められております。

さらには、福島県指導農業士として、青年農業者育成に貢献され、また三春町農業委員会、土地改良区などの要職も長年務められ、地域農業の発展、葉たばこ振興に大きく貢献したことが評価され、この度の受賞となりました。

田村地方の葉たばこ栽培の歴史は古く、江戸中期には銘葉と称される在来種の「松川葉」産地として確立しており、明治以降、特に昭和40～50年代には、全国市町村販売金額において、田村地方の市町村が上位を占めるなど全国での主産地の一つとなりました。

一方で、明夫さんが就農された昭和50年代以降、昭和60年の専売公社の民営化、昭和62年のタバコの輸入関税廃止など葉たばこを巡る環境は目まぐるしく変化してきました。その中でも、紙巻きタバコの国内需要の変化を背景に、昭和60年前後からの在来種からバーレー種への転換があり、肥培管理のほか、収穫・乾燥工程も従来からの変更を余儀なくされましたが、それらを御夫婦で乗り越えてこられました。

明夫さん御夫妻は、日頃から栽培などの知識習得や技術の研鑽などに努められ、土づくりや、施肥量の改善のほか、日々の観察を注意深く行い適期での収穫に取り組まれております。更には、乾燥作業時には、温度、湿度の管理の徹底などの改善に努められ、栽培面積、収量、品質とも地域でトップクラスとなっています。



【乗用作業機】

受賞者の声

「夫婦二人三脚で約40年やってきた成果が評価され、このような賞をいただき大変うれしく思います。それと同時に、これまで多方面から支えてくださった地域の皆様並びに関係者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、地域農業の維持・発展に貢献していきたいと思っております。」



【乾燥作業をするご夫妻】

農業経営改善部門

とびさわ 飛澤 よしお 良男さん・とくこ 登久子さん御夫妻（鏡石町）

良男さん・登久子さん御夫妻は、本県オリジナル品種の栽培に力を入れており、イチゴでは「ふくはる香」、水稲では「天のつぶ」を全量作付けし、味や品質の良さを県内外に発信されています。

イチゴについては、品質向上のため、もみ殻や米ぬかなど有機質肥料を中心とした施肥管理で、微生物の棲みやすい環境を意識した土づくりに力を入れています。また、新技術の導入についても積極的に行っており、県の先行試験の受け入れ先として、うどんこ病の抑制効果のある「UV-Bランプ」の実証（平成27～29年度）や、県オリジナル品種育成のための現地実証ほ場（平成30年度）にも御協力をいただきました。「ふくはる香」はうどんこ病に弱いという特性がありますが、「UV-Bランプ」を導入したことでその発生を予防し、農薬の散布回数を減らして、品質の良いイチゴの生産につながっています。

水稲については、イチゴの営農に支障がないよう、省力化に努めた管理を行っています。基肥の一発施肥や除草剤・殺虫剤の田植時同時処理、フレコンバックの導入、乾燥調製施設の整備等、省力化技術を積極的に取り入れ、規模拡大に対応しています。

後継者である息子さんは、平成26年に就農し、主に販売部門を担当しており、地域の担い手としても期待されています。

受賞者の声

「名誉ある賞をいただき、感激しています。受賞は家族の支えがあってこそ。長男夫婦らとともに今後も精進していきたいです。農業を生業にすることは厳しい面もありますが、楽しいこともたくさんあります。その楽しさと厳しさに挑戦する人をこれからの農業の担い手に求めます。

鏡石町で行っている、イチゴの加工品を開発する産学官連携の事業に協力していますが、今後も活動が続け、「鏡石町」ひいては「福島県」の名前をブランド化できるように頑張っていきたいです。」



【イチゴ畑にて】



【心を込めてイチゴを育てる御夫妻】

～農林業関係の動き（トピックス）～

「ふくしま・ど・真ん中 就農促進フェア」を開催しました！【農業振興普及部】

9月18日、福島県農業総合センター（郡山市）において、県中農林事務所と県中地方12市町村などが連携した新規就農相談会「ふくしま・ど・真ん中 就農促進フェア」を開催しました。

フェアでは、地域情報や就農支援情報を紹介する「就農支援ブース」と求人情報などを提供する「求人募集・雇用ブース」の2種類の相談ブースを設けて対応しました。

就農支援ブースには市町村等8団体、求人募集・雇用ブースには農業法人等5団体が出展し、就農希望者など約50名が相談に訪れました。

相談会では、就農前の研修制度や独立自営就農時のサポート事業、制度資金、農地取得、雇用就農などについて活発な情報交換が行われており、就農への高い関心が感じられました。県中地方の今後の就農・定着に繋げていきたいと考えています。



【就農支援・相談ブースでの就農相談】



【就農促進フェア開催風景】



【求人募集・雇用相談ブースでの就農相談】



【リモートでの就農相談】

なお、就農相談は通常も随時受け付けております。

県中農林事務所 農業振興普及部 TEL:024-935-1310

田村農業普及所 TEL:0247-62-3113

須賀川農業普及所 TEL:0248-75-2180

へお気軽に相談ください。

「フレッシュ農業講座」を開催しました！ 【田村農業普及所】

9月15日、県立小野高等学校（小野町）産業技術系列の2年生13名を対象に、フレッシュ農業講座を開催しました。

本講座は、地域農業者との交流や意見交換、生産現場の視察を通じて就農への動機付けや農業に対する関心を高めることを目的に、平成24年から毎年開催しています。



【稲村さん（中央）とブルーベリージャムづくり】

本年度は、田村市滝根町で黒米やブルーベリー、ラズベリーなどを栽培し、農産物の加工にも取り組んでいる稲福由梨^{いなふくゆり}さんを講師に招き、稲福さんの取組内容に関する講義やブルーベリーを用いたジャム加工実習、稲福さんの6次化商品の試食をしました。

2年生は昨年度、同講座で野菜や畜産などの生産現場の見学を行っており、2年間で生産現場から加工まで幅広く学んでもらうことができました。

「第6回JA福島さくら和牛育成管理共進会」が開催されました！ 【田村農業普及所】

9月25日、田村市常葉町のJA福島さくら畜産センター広場において、和牛繁殖雌牛の育成管理技術の向上と基礎雌牛群の改良促進を目的に、第6回JA福島さくら和牛育成管理共進会が開催されました。月齢などの出品条件により第1区から第5区に区分された計35頭の出品牛は、全国和牛登録協会が定める審査標準に基づき、体の深さ、幅、伸びなど体積の豊かさや体と肢蹄のバランス、歩様、品位等について審査されました。

この結果、15頭が優等賞に選出され、さらにこの中から、たむら地区船引支部の佐藤^{さとう}幸仁^{ゆきひと}さんが出品した「あやめ号」が見事、最優秀賞に選ばれました。

優等賞に選ばれた15頭は、10月28日に福島県家畜市場（本宮市）で開催された第31回JAグループ和牛育成管理共進会に出品されました。



【審査の様子】



【最優秀賞のあやめ号】

令和3年度優良工事監督員賞の受賞！ 【農村整備部】

令和3年度福島県優良農林水産土木工事の表彰に伴い、9月15日に当所農村整備部執務室において、該当工事の監督員を務めた農林事務所職員に対し、優良工事監督員賞の表彰を行いました。

当事務所では、新安積二期地区を担当した^{ししどおさむ}宍戸 修 主査、前職の会津農林事務所^{おおわだしゅうへい}で駒形第三地区を担当した大和田 秀 平技師の2名が受賞しました。

【宍戸修主査（新安積二期地区）】

猪苗代湖を水源に郡山市と須賀川市の農地に水を供給している新安積用水路は、昭和16～41年にかけて国営事業により造られた施設です。白江幹線用水路はその下流にあたる水路であり、長年、老朽化による漏水や用水不足に悩まされていました。山林に位置する水路工事は困難を極めましたが、有限会社広陽工業の熱心な工事により優良工事監督員賞を受賞することができました。



【新安積二期地区】

【大和田秀平技師（駒形第三地区）】

受賞した駒形第三地区は喜多方市と河沼郡湯川村に所在し、雄国山麓と一級河川境見川との間に展開する受益面積約138haのほ場整備工事です。

本地区には遺跡が分布しており、埋蔵文化財保護のため施工が制限されたことや、来春からの作付開始という時間的制約がある非常に困難な工事でしたが、今回榮譽ある優良工事監督員賞を受賞できたのは、マルト建設株式会社の見事な施工努力の賜です。



【駒形第三地区】

「第2回ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾（農作業安全編）」を開催しました！

【農業振興普及部】

10月15日、福島県農業総合センター（郡山市）において、第2回ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾（農作業安全編）を開催しました。

新規就農者等を対象とした農業の基礎を学ぶ全6回の研修のうち2回目の今回は、農業総合センター農業短期大学校（矢吹町）の農業機械担当者を講師に迎え、農作業安全対策の講演や農機整備（刈払機・トラクタ）の基礎知識について実習を行いました。

最近、管内でも農作業死亡事故が続いており、参加者は実際の事故事例や農機整備について熱心に耳を傾けていました。

今後は、「農業に関する税」、「きゅうりセミナー」、「GAPの概要と実践のポイント」、「先輩農業者との交流」について研修を行う予定です。



【トラクタ整備の実習】

石川地方植樹祭が平田村で開催されました！ 【森林林業部】

9月17日、ジュピアランドひらた（平田村）において、「令和3年度石川地方植樹祭」が開催されました。

令和3年度緑化運動テーマ「ふるさとの かがやく緑いつまでも」のもと、国土緑化石川地方推進委員会と福島森林管理署白河支署の主催により、森林づくり意識の醸成を目的として行われました。

当日は台風14号の影響が心配されましたが、幸い晴れ間がのぞき、暑すぎず寒すぎず、植樹祭にはぴったりの天気となりました。開会式での主催者式辞や来賓あいさつの後、緑豊かな自然が未来へつながるようにとの思いを込め、95名の参加者によりイロハモミジが植樹されました。



【色づくのが楽しみです】

ジュピアランドひらたは、一面をピンクの絨毯に染めるシバザクラで有名ですが、初夏から咲き始めるユリやアジサイも美しい花の名所です。特にアジサイは、「展示されたアジサイの最多品種数」でギネス世界記録に認定されるほど。この日植樹されたイロハモミジは紅葉が美しい樹木です。いずれ蓬田岳の山裾に秋の彩りを加えてくれることでしょう。

10月28日から福島県ブランド米「福、笑い」販売開始！ 【農業振興普及部】

本県のトップブランド米「福、笑い」が昨年の先行栽培を経て、今年から一般栽培が開始されました。厳しい品質基準を達成するため、生産者の方々が丁寧な栽培管理を行っていただいたことで、稔りの秋を迎え収穫作業となりました。

収穫された「福、笑い」は、10月28日（木）より、うすい百貨店、JA福島さくらの直売所などで一般販売が開始されています。

白地に紺色の特徴的なパッケージで販売していますので、見かけた際は購入いただき、福島県のトップブランド米をお楽しみください。



【「福、笑い」パッケージ】

各部・各普及所の紹介 ～田村農業普及所～

田村農業普及所は、所長、次長をはじめ、地域農業推進課5名と経営支援課6名の計13名に、農地中間管理機構地方駐在員、派遣職員、会計年度任用職員の3名を含めた16名で業務を行っています。

農業生産に関する技術的な支援の他、下記の業務を中心に活動しています。

地域農業推進課

地域農業の担い手の確保の支援や、新規就農者・定年帰農者等の確保・育成、田村市の営農再開地域の農業経営安定を図る支援を行っています。さらに、「人・農地プラン」の策定、農地集積の推進、担い手の規模拡大や法人化の取組の支援も行っています。



【オンライン就農相談】



経営支援課

農業における、農産物安全、環境保全、労働安全などの持続的な取組を確保するための管理手法である第三者認証GAP等の取組を推進しています。また、イノシシをはじめとする鳥獣害の防止の取組の支援や、直売所の支援や農産物の6次化に関する取組の支援も行っています。



【現地指導会】



が、当たるかも!?

～おいしい6次化商品～

福島県産農産物を使用して県中地方で作ったお菓子「ふくなかすいーつ」の消費拡大と知名度向上を図るため、ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーンを実施しています!

キャンペーン期間中に、協力店(所在等はチラシ裏面を御覧ください)でお買物をしていただいた方を対象に700円を1口として抽選を行い、30名の方にふくなかすいーつなど県中地方のお菓子の詰め合わせ(3,000円相当)をプレゼントします!

皆様ぜひご応募ください!!

(1) キャンペーン期間

令和3年10月1日(金)～12月26日(日)

※翌日消印有効

(2) 応募方法

協力店に備えてある応募用チラシに必要事項をご記入の上、レシートを貼付し、下記へ輸送又はご持参ください。



【問合せ・応募先】

〒963-8540

福島県郡山市麓山1-1-1

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーン担当 宛

【キャンペーンチラシ】

【協力店舗一覧】



【プレゼントイメージ】

店舗名	店舗名
1 安積野菓子処 平田屋 清水台本店	16 BON BAKERY
2 安積野菓子処 平田屋 荒池公園前店	17 夢・菓子工房 かめまん 本店
3 菓子処 ヤナギ屋	18 夢・菓子工房 かめまん 仲の町店
4 柏屋 本店	19 公益財団法人 須賀川市農業公社
5 柏屋 開成柏屋	20 菓子工房あくつ屋
6 柏屋 香久池柏屋	21 みやこじスイーツゆい
7 柏屋 八山田柏屋	22 Kokage Kitchen
8 柏屋 静御前通り柏屋	23 パン工房 陽だまり
9 喜楽堂	24 恵びす屋
10 みよし堂	25 お菓子のさかい 長久保店
11 安河屋菓子店	26 お菓子のさかい 石川本店
12 かど屋(神山菓子店)	27 お菓子のくわざわ
13 四季彩菓子アドリエ さとうとパニラと	28 菓子工房いわきや
14 株式会社栄楽館 ホテル華の湯	29 里の菓子処 よしだ
15 しのお菓子店	30 三春昭進堂

※お知らせ※

野生まつたけの非破壊検査による出荷について

野生きのこの出荷制限市町村（湯川村、金山町、檜枝岐村、南会津町を除く 55 市町村）から採取されるまつたけのうち、所定の検査・出荷管理に基づき非破壊検査を受け、食品の放射性物質の基準値以下であることが確認されたものの出荷が可能になりました。（今年は県が検査及び出荷管理を行います。）

検査初日にあたる 10 月 4 日には、郡山市産のまつたけ 2 検体が当所森林林業部を経由して福島県林業研究センター（郡山市）に持ち込み、検査の結果、基準値を下回ったことから、検査済証が貼付され、出荷者に返送されました。

なお、まつたけの非破壊検査については、検査・出荷管理体制の調整が遅れ、出荷希望の皆様にご迷惑をかけることになりましたが、今後はスムーズに検査・出荷ができるよう努めてまいります。

詳しくは、森林林業部までお問い合わせください。TEL：024-935-1367



【検査済証が貼付されたまつたけ】

須賀川農業普及所が移転しました！

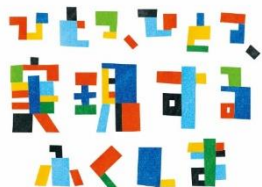
10 月 4 日より、須賀川農業普及所は、旧須賀川市産業会館 1 階へと仮移転いたしました。新庁舎建設までの一時的な移転となります。

たくさんのお客様に御来庁いただきました庁舎を離れましたが、これからも管内の皆様のお力になれるよう職員一同張り切って参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

所在地：須賀川市花岡 34 番地の 2
（旧庁舎の北隣）



【移転した事務所】



お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県農中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目 1 番 1 号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

